

大学ポートレート運営会議（第24回）議事要旨

1. 日 時 令和8年2月24日（火） 13:30～14:30

開催方法 オンラインにより開催

2. 出席者

〔委員〕 近藤委員、沢委員、志賀委員、日比谷委員（議長）、光石委員、水戸委員（副議長）、

村崎委員、矢口委員、柳沢委員、吉田委員、

一般社団法人公立大学協会 中田理事・事務局長（浅井委員代理）

〔主査〕 大学ポートレートステークホルダー・ボード 杉谷主査

〔オブザーバー〕 文部科学省 高等教育局 野村高等教育政策室専門職

〔事務局〕 大学改革支援・学位授与機構 大学ポートレート・大学情報基盤センター

成相副センター長、堀内事務室長、山田事務室室長補佐

日本私立学校振興・共済事業団 私学経営情報センター

家坂センター長、外川私学情報室長

3. 議 題

（1）大学ポートレートステークホルダー・ボードからの意見について

（2）大学ポートレートにおける機能拡充・改修について

（3）大学ポートレートの現状について

（4）その他

4. 配付資料

資料1 大学ポートレート運営会議委員名簿

資料2 大学ポートレート運営会議（第23回）議事要旨（案）

資料3 大学ポートレートステークホルダー・ボード委員名簿及び令和7年度ヒアリング
有識者名簿

資料4 令和7年度大学ポートレートステークホルダー・ボード 主な意見

資料5 大学ポートレートにおける機能拡充・改修について

資料6 これまでの大学ポートレートの改善状況について

資料7 令和7年度大学ポートレート参加状況

資料 8	大学ポートレート公表画面へのアクセス数について
参考資料 1	大学ポートレート運営会議関係規則等
参考資料 2	令和 7 年度ステークホルダー・ボード 栗田上席主任研究員提出資料
参考資料 3	令和 7 年度ステークホルダー・ボード 大学ポートレート（国公立版）説明資料
参考資料 4	令和 7 年度ステークホルダー・ボード 九州工業大学提出資料
参考資料 5	令和 7 年度ステークホルダー・ボード 大学ポートレート（私学版）説明資料
参考資料 6	令和 7 年度ステークホルダー・ボード 金沢工業大学提出資料

初めに、大学ポートレート運営会議（第 23 回）の議事要旨の確認ののち、議題について協議が行われた。主な内容は次のとおり。

（１）大学ポートレートステークホルダー・ボードからの意見について

- ・堀内事務室長より、資料 3、4、参考資料 2～6 に基づき、令和 7 年 12 月 9 日に開催された令和 5 年度大学ポートレートステークホルダー・ボードの概略について説明があった後、杉谷大学ポートレートステークホルダー・ボード主査より、資料 4 及び参考資料 2～6 に基づき、取りまとめた意見について報告があった。
- ・議長より令和 8 年度の大学ポートレートステークホルダー・ボードの開催について提案があり、開催することが承認された。
- ・最後に、堀内事務室長より大学ポートレートステークホルダー・ボード委員の改選について説明があった。

＜主な意見＞

【日比谷議長】 大学ポートレートを企業の方が知らないという話があったが、それは全く聞いたこともないのか、それとも聞いたことがあるがよく分からないという程度なのか。

【杉谷主査】 話を伺った全ての企業の方が、ほぼ何も知らないという状況だった。

【矢口委員】 今後大学ポートレートを活用してもらうためには、AI の活用等を含めて様々な工夫をして見てもらうのか、それとも、正確で信頼できるデータを集める場として再構築するのか、ステークホルダー・ボードのご意見の方向性としてはどちらが中心であったか。

【杉谷主査】 AI が活用される中で確かな情報を提供していくことが前提ではあるものの、委員でも立場により考えが異なる。企業の方は企業からの報告に近いご意見であった。実際に大学の現場で大学ポートレートに関わる方からは、高校生等への広報よりもデータベースと

しての機能をもっと打ち出してはどうかというご意見があった。

大学ポートレートは非常に多様な層を対象として想定しているが、これだけ多くの目的を1つの媒体で提供していくこと自体がかなり難しいので、もう少しターゲットを絞ってはどうかというのは従来から出ている意見である。ある意見が強いというものではなく、それぞれの立場からの意見があり、それがステークホルダー・ボードの意義かと思う。

【光石委員】 大学ポートレートの知名度は相当低く、おそらく高校生にも企業にもほとんど知られていないだろう。A Iについては、そもそもA Iが読み込んで活用できるデータベースになっているのかを調べる必要がある。

杉谷主査が仰ったように、高校生、大学、企業、一般市民など対象者が多様であるため、1つの方式では全てを解決できない。もう何年もこの問題は言われているので、一朝一夕に解決できる問題でもないが、抜本的な取組が必要かとは思っている。

また、ご存じのように文部科学省が新しい評価に関するシステムを検討している。そちらに大学ポートレートの経験をどう継承していくかという点も考えていくことになるだろう。

【水戸副議長】 今の高校生が大学を考えるときにインターネット検索をしているのか、それとも生成A Iに尋ねているのかを調べる必要がある。生成A Iに尋ねる高校生が非常に多いと聞くので、生成A Iが情報を集めにきたときに公開URLから回答が得やすいような構造にしておかないといけない。セキュリティーやデータの解釈に対する懸念を解消しながら、生成A Iを活用した機能追加の可能性は前向きに検討すべきではないか。ステークホルダー・ボードにはリクルートの方もいらっしゃるので、詳しく聞いてみるのがよいかもしれない。

【山田事務室長補佐】 今回のステークホルダー・ボードの議論ではそこまでの話にはならなかった。事務局としても様々な方法で情報収集を行い、生成A Iの活用が可能かという点を検討していく必要があると考えている。

（２）大学ポートレートにおける機能拡充・改修について

・堀内事務室長より、資料5に基づき、大学ポートレートにおける機能拡充・改修について報告があった。

＜主な意見＞

【日比谷議長】 高校生向けの改修について、どのようなことを考えているか。

【堀内事務室長】 大学ポートレートをどのように利用できるかを、高校生向けに分かりやすい記載かつスマートフォンで見やすい内容として導入ページを作成し、トップページ等にリン

クを掲載する予定である。まずは案の形で公表させていただき、今後、高校生との意見交換等も行いながら随時見直しを検討していきたい。

【日比谷議長】 機会があれば高校生から意見を直接聞くことは大事だ。

（３）大学ポートレートの現状について

- ・堀内事務室長より、資料６に基づき、大学ポートレートにおける主な取組について説明があった。その後、資料７及び資料８に基づき、大学ポートレートの参加状況及びアクセス数について報告があった。

＜主な意見＞

【沢委員】 高校生がアクセスする道筋として、例えば高校の進路指導の資料等に、大学ポートレートというコンテンツは含まれているのか。

【堀内事務室長】 令和４年度に実施した調査では、高校生や高校教員からの認知度は低く、高校生に使ってもらうためには高校教員へアプローチしていくことが効果的だろうという分析結果を得ている。高校に向けた広報は実施しているが、そのほかにも、先ほどご報告した高校生向け導入ページの検討にあたりご意見を伺ったステークホルダー・ボードの渡邊委員から、実際に高校生の意見を聞くのであれば勤務校で協力してもよいというお話をいただいている。そうしたところからまずは情報収集を進め検討していきたい。

（５）その他

- ・特になし

以 上